

1 総合的な学習の時間における教育課程実施上の課題と指導上の留意事項

(1) 「総合的な学習の時間」を構想するに当たって

① 「総合的な学習の時間の目標」の確認

第 1 目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して(①)、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する(②)とともに、学び方やものの考え方を身に付け(③)、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て(④)、自己の生き方を考えることができるようになる(⑤)。

「小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」(以下、「小学校解説」) P10～
「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」(以下、「中学校解説」) P10～

第 2 各学校において定める目標及び内容

1 目標

各学校においては、第 1 の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。

2 内容

各学校においては、第 1 の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の内容を定める。

「小学校解説」P18～、「中学校解説」P18～

- * 「第 1 の目標を踏まえ」とは、「①～⑤の 5 要素を全て含む必要がある」ということ。
- * H10 学習指導要領で問題になったのは、「各学校において」の規定による「学校間格差」。



その対策として、H20 学習指導要領では「全体計画の作成方法」「事例」を具体的に提示。
「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開～総合的な学習の時間・指導資料～」(以下、「指導資料」) P64～

② 「全体計画」の作成(「指導資料」P65に様式例)

〈 全体計画の中心となる 3 要素 〉

- 1) 各学校において定める目標 ……(「指導資料」P67～68に「書き表し方」の例)
- 2) 育てようとする資質や能力及び態度 ……(「指導資料」P70 図3に具体例)
- 3) 各学校において定める内容 ……(「指導資料」P72～73 図4に具体例)

* 2) について

「資質や能力及び態度」とは「どのように学ぶか」のこと。「学習方法に関すること」「自分自身に関すること」「他者や社会とのかかわりに関すること」等の視点に配慮する。

* 3) について

「内容」とは「何を学ぶか」のこと。「学習課題」「学習対象」「学習事項」がその要素。

(2) 「探究的な学習」の実現のために

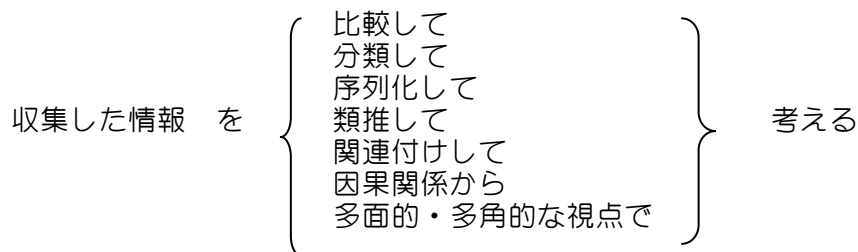
〈 探究的な学習 〉

①～④のような問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく一連の学習活動

- ①【課題の設定】 体験活動などを通して、課題を設定した課題意識をもつ
- ②【情報の収集】 必要な情報を取り出したり収集したりする
- ③【整理・分析】 収集した情報を、整理したり分析したりして施行する
- ④【まとめ・表現】 気づきや発見、自分の考えをまとめ、判断し、表現する

* ③【整理・分析】の実現が不十分。

「何を、どのように考えさせたいのか」を意識して学習活動を適切に位置付ける。



2 「平成 25 年度全国学力・学習状況調査」に見る「総合的な学習の時間」の成果

「平成 25 年度全国学力・学習状況調査 報告書 クロス集計」からの抜粋。

(1) 学校の指導状況と教科の平均正答率の関係

- 「～，総合的な学習の時間における探究活動を積極的に行っている学校の方が，教科の平均正答率が高い傾向が見られた。」
- 「～総合的な学習の時間では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した生徒について，教科の平均正答率が高い傾向が見られた。」
- 「全ての教科についての平均正答率が 5 ポイント以上全国平均を上回る学校と 5 ポイント以上全国平均を下回る学校を比較すると，～，総合的な学習の時間における探究活動等の項目について顕著な差が見られた。」

(2) 記述式問題（B 問題（活用））の解答状況の分析

- 「～，総合的な学習の時間における探究活動，～，を積極的に行った学校の方が，記述式問題の平均正答率が高い傾向が見られた。」

(3) 児童生徒の学習状況と学力の関係

- 「～，総合的な学習の時間における探究活動，～を行ったと回答した学校の方が，児童生徒が授業以外での学習を積極的に行っている傾向が見られた。」

(4) 学習意欲に関する分析

- 「総合的な学習の時間では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した児童生徒の方が，学習意欲が高い傾向が見られた。」

「総合的な学習の時間」の取組は，実生活で使える「汎用的能力」（「21 世紀型能力」…キーコンピテンシー）の育成につながる。探究的な学習の中で，各教科で身に付けた知識や技能を繰り返し活用し，思考力・判断力・表現力の育成を目指す。